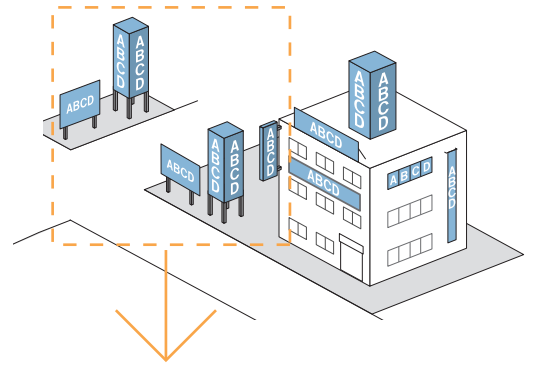


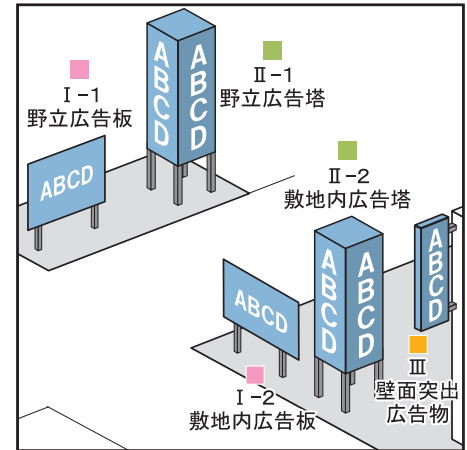
種類別デザイン指針

- I-1. 野立広告板、I-2. 敷地内広告板、
- II-1. 野立広告塔、II-2. 敷地内広告塔
- III. 壁面突出広告物



デザインの基本的考え方

- 調和や落ち着いた色のある景観形成のため、地色の色づかいに配慮し、小山市全体で調和のとれた広告景観の創出を図りましょう。
- 特に、田園地域においては、豊かな田園景観との調和に配慮した色づかいとしましょう。
- 看板を支持するポールや看板枠の色彩は、落ち着いた色を採用しましょう。
- 企業や店舗のイメージアップにつながるよう、品のあつ色づかいに心掛けましょう。
- 心地よい都市景観を形成するため、看板の足下の緑化に努めましょう。



広告景観誘導地域別デザイン指針概要一覧

	1. 住居専用地域	2. 市街地地域	3. 田園調和地域	4. 田園調和沿道地域
地の色彩	低・中彩度。		低・中彩度で周辺の景観と調和する色調。	
図の色数	2色以下。 (*1)	3色以下。 (*1)	2色以下。 (*1)	
図の色彩	出来る限り、高彩度、高明度は使用しない。地色が低彩度、低明度の場合は、文字色は白		原則、低・中彩度。地色が低彩度、低明度の場合は、文字色は白	
ポールや枠の色彩	ポールは出来る限り、ダークブラウン(10YR 2/1)。(但し、グレー系や白も使用可) 枠を設ける場合は、ポールと同色		原則、ダークブラウン(10YR 2/1)。(但し、田園景観に調和する低彩度、低明度の色は使用可) 枠を設ける場合は、ポールと同色	
その他	I-1. 野立広告板、I-2. 敷地内広告板、II-1. 野立広告塔、II-2. 敷地内広告塔のみ 足下の緑化に努める		I-1. 野立広告板、I-2. 敷地内広告板、II-1. 野立広告塔、II-2. 敷地内広告塔のみ	
	III. 壁面突出広告物のみ 一つの建築物に複数あるいは連続して設置する場合は形態・色調を調和させる。			

*1 : 広告面の中に表示する企業ロゴ等ワンポイントマークは除く

■ 指針に基づく改善シミュレーション

地 色彩は低・中彩度としましょう。



色彩が高彩度



色彩を中彩度にした例



色彩を低彩度にした例



色数はそれぞれの地域の限定数にし、かつ、色彩は低・中彩度です。
地の色が低彩度、低明度の場合は文字色は白色にしましょう。
(但し、企業ロゴ等部分的に表示されるワンポイントマークは除きます)



色数：5色

色彩：■ ■ ■ ■ ■

色数を多用し、かつ、色彩も明
度が高く、彩度も高い



色数：3色

色彩：■ □ ■

色数を3色に減らし、かつ、色
彩も低彩度で低明度にした例



色数：2色

色彩：■ □

色数を2色に減らし、かつ、色
彩も低彩度で低明度にした例

ポールや枠 色彩はダークブラウン（10YR 2/1）にしましょう。枠はポールと同色です。



ポールの色彩が青色



ポールの色彩をダークブラウン
に変えた例

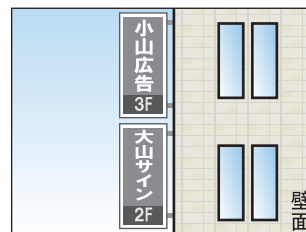


枠をポールの色彩に合わせた例

その他 足下の緑化に努めましょう。壁面突出広告物は形態・色調を調和させましょう。



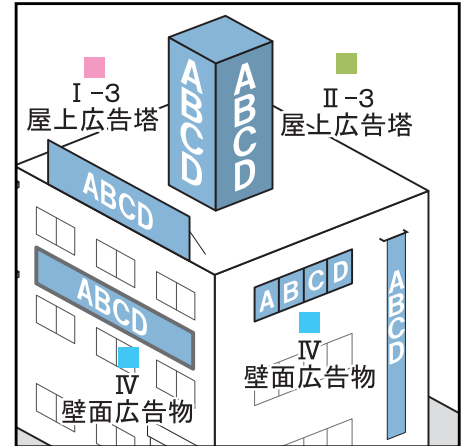
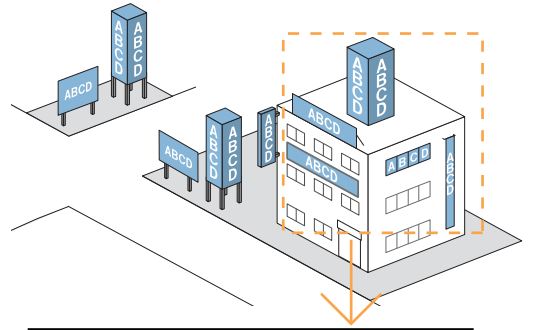
足下を緑化した例



連続した壁面突出広告物の
形態・色調を調和させた例

種別別デザイン指針

I-3. 屋上広告板、II-3. 屋上広告塔、IV. 壁面広告物



■ デザインの基本的考え方

- 建築物の壁面の色彩との調和に配慮し、建築デザインをひきたてる広告景観の創出を図りましょう。
特に、田園地域においては、豊かな田園景観との調和に配慮した色づかいとしましょう。
- 企業や店舗のイメージアップにつながるよう、品のある色づかいに心掛けましょう。
- 出来る限り高さや表示面積を抑え、また、シンプルな形態とするなどすっきりとした広告景観を創出を図りましょう。
- 窓面広告の掲出は、防災上の観点からも出来る限り避けましょう。

■ 広告景観誘導地域別デザイン指針概要一覧

	1. 住居専用地域	2. 市街地地域	3. 田園調和地域	4. 田園調和沿道地域
地の色彩	出来る限り、低・中彩度で建物の外壁と同じ色調。		原則、低・中彩度で建物の外壁と同じ色調。	
図の色数	2色以下。 (*1)	3色以下。 (*1)	2色以下。 (*1)	
図の色彩	出来る限り、高彩度、高明度は使用しない。地色が低彩度、低明度の場合は、文字色は白		原則、低・中彩度。地色が低彩度、低明度の場合は、文字色は白	
その他	I-3. 屋上広告板、II-3. 屋上広告塔のみ			
	奇抜なデザインは避ける。			
	IV. 壁面広告物のみ			
	出来る限り小面積で、シンプルな形態	景観に調和しつつ店舗等の個性を表現するデザインに配慮する。	周辺の景観との調和を重視する。	
窓面広告の掲出は出来る限り避け、やむを得ず掲出する場合は、切り抜き文字を使用するなど景観、デザイン上の配慮をする。	窓面広告は掲載する場合は、切り抜き文字を使用するなど景観、デザイン上の配慮をする。	窓面広告は原則、掲出しない。		

*1: 広告面の中に表示する企業ロゴ等ワンポイントマークは除く

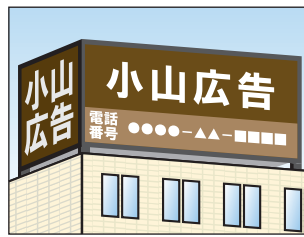
■ 指針に基づく改善シミュレーション

地

色彩は低・中彩度で建物の外壁と同じ色調としましょう。



色彩が高彩度



地の色彩を低彩度にした例



色彩を外壁と同じ色調にした例

図

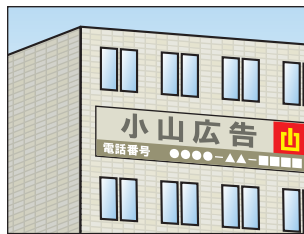
色数はそれぞれの地域の限定数にし、かつ、色彩は低・中彩度です。
地の色が低彩度、低明度の場合は文字色は白色にしましょう。
(但し、企業ロゴ等部分的に表示されるワンポイントマークは除きます)



色数：5色

色彩：■ ■ ■ ■ ■

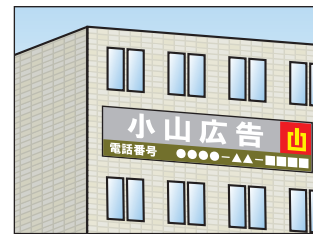
色数を多用し、かつ、色彩も明
度が高く、彩度も高い



色数：3色

色彩：■ ■ ■

図の色数が3色で、かつ、外
壁と同調させた例



色数：2色

色彩：■ ■

色数は2色とし、かつ、地色が
低彩度、低明度で、文字色を
白色にした例

形態

奇抜なデザインは避け、周辺の景観に配慮したデザインにしましょう。



奇抜なデザインは避けましょう



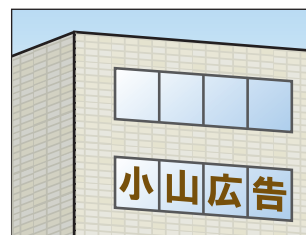
シンプルな形態にした例

その他

窓面広告の掲出は避け、掲出する場合は切り文字などを用いましょう。



窓面広告の掲出は避けましょう



切り文字を用いた窓面広告の例